



# 令和3年度 放課後子ども総合プラン 事業報告書



令和4年3月  
石川県教育委員会

# 目次

○放課後子ども総合プランとは	1
○放課後子ども総合プランの実施状況	2
○放課後子ども総合プラン推進委員会	2
○地域と学校の連携・協働の推進に係る研修会	3
○放課後子ども総合プラン研修会	4
○放課後児童支援員等研修事業	5
○放課後児童支援員認定資格研修事業	6
○放課後子ども教室推進事業 各市町の取組事例	7
・金沢市	8
・小松市	11
・輪島市	13
・珠洲市	16
・加賀市	18
・白山市	21
・野々市市	23
・中能登町	25
○放課後児童クラブ・放課後子ども教室連携活動 事例紹介	28
・中能登町	29
○地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業 各市町の取組事例	30
・小松市	32
・加賀町	33
・白山市	34
・野々市市	35

# 放課後子ども総合プランとは

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次世代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来るように、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型（※）を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるため、「放課後子どもプラン」（平成19年度～）に代わり、平成26年7月に「放課後子ども総合プラン」が、また、平成30年9月に、「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました。

国では、全ての児童の安全・安心な居場所を確保するため、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるほか、新たに放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を整備する場合は、余裕教室などの学校施設を徹底的に活用することを目指しています。

石川県では、これまで全ての子どもたちの放課後のため、従来のスポーツ活動や文化活動、子ども会活動のほか、放課後児童クラブや放課後子ども教室の取組などを地域の实情に応じて柔軟に実施するなど、「放課後子どもプラン」を着実に実施してまいりました。平成27年度以降は、「放課後子ども総合プラン」として展開しています。

子どもたちの放課後において、地域の人々をはじめとする豊かな社会資源を活用し、子どもたちの様々な体験活動や文化に触れる機会、そして、地域の様々な世代の方々との交流の充実に向けて、今後とも、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

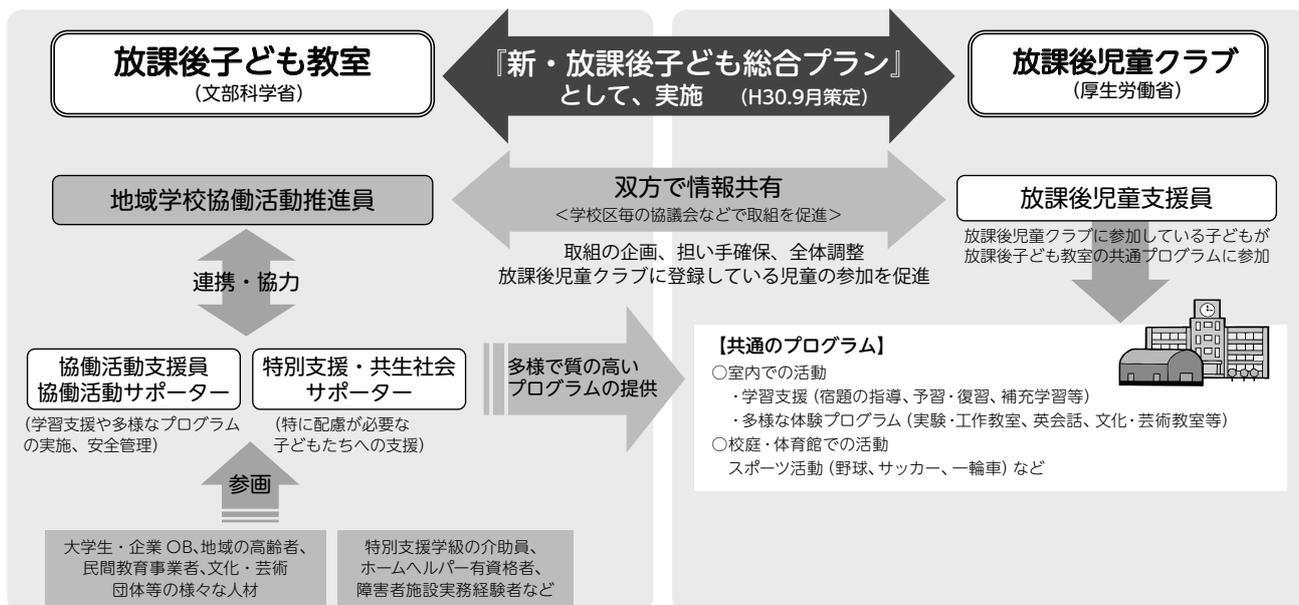
本冊子では、各市町の放課後子ども教室の取組事例を掲載しております。取組の情報を共有し、より魅力ある教室となることを願っています。

※ 一体型とは、放課後児童クラブと放課後子ども教室の児童が、同一の小学校内等の活動場所において、放課後子ども教室開催時に、共通プログラムに参加できるものをいう。

## 放課後子ども教室 ～放課後子ども総合プランの推進～

<文部科学省事業説明図より>

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策を推進



・2023年度までに全ての小学校区で、放課後児童クラブと一体型又は連携型の放課後子ども教室を実施。うち小学校区で一体型として1万箇所以上で実施することを目指す。

# 放課後子ども総合プランの実施状況

R4.3.1 現在

放課後子ども教室	
	開設数
金 沢 市	8
七 尾 市	—
小 松 市	1
輪 島 市	1 1
珠 洲 市	8
加 賀 市	4
羽 咋 市	—
か ほ く 市	—
白 山 市	1
能 美 市	—
野々市市	5
川 北 町	
津 幡 町	
内 灘 町	
志 賀 町	
宝達志水町	
中能登町	6
穴 水 町	
能 登 町	
合 計	4 4

R3.5.1 現在

放課後児童クラブ	
	開設数
金 沢 市	1 0 3
七 尾 市	1 9
小 松 市	3 5
輪 島 市	1 2
珠 洲 市	—
加 賀 市	2 2
羽 咋 市	4
か ほ く 市	1 2
白 山 市	4 0
能 美 市	1 7
野々市市	2 9
川 北 町	3
津 幡 町	1 6
内 灘 町	6
志 賀 町	5
宝達志水町	2
中能登町	5
穴 水 町	3
能 登 町	5
合 計	3 3 8

## 令和3年度石川県放課後子ども総合プラン推進委員会

### (1) 目的

子どもたちが、安全・安心に過ごすことができるよう放課後対策の総合的な在り方や、土曜日における教育活動の総合的な在り方を検討し、指導員等に対する研修の企画や、事業の検証・評価を行うほか、市町の取組を支援する。

### (2) 推進委員会委員

委員長	清水 茂	石川県教育委員会事務局生涯学習課長
副委員長	河崎 恵	石川県健康福祉部少子化対策監室子ども政策課長
委員	釜土 達雄	石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会会長
委員	桑村佐和子	金沢美術工芸大学教授
委員	駒澤 美紀	石川県PTA連合会副会長
委員	関戸 正彦	石川県公民館連合会会長
委員	西村 悦子	野々市市放課後子どもプラン運営委員会委員
委員	前田みどり	石川県公立小中学校教頭会幹事
委員	宮坂 巖	石川県教育委員会事務局学校指導課参事

### (3) 推進委員会の開催

日 時 令和3年7月29日(木) 石川県庁会議室

- 内 容 (1) 放課後児童クラブに関する事業について  
(2) 放課後子ども教室に関する事業について  
(3) 令和3年度放課後子ども総合プラン研修計画について  
(4) 活動事例発表 「キッズかがのクラブ」(白山市)  
白山市放課後子どもプラン運営委員 小島 直美 氏  
(5) 意見交換

出席委員のご意見より

- ・コロナ禍にあっても、子どもたちは一日一日成長していくのに、活動ができなかったり、止められたりする。こういう時代の中で、現場第一主義で、タイミングを見ながら柔軟に対応されている姿勢が素晴らしいと思った。
- ・単に安心・安全だけではなくて、かしこい子どもたちを育成したいという思いの中で充実した活動を設定されていることに感銘を受けた。
- ・「動きを止めない」ということはすごいことだと思った。やはりニーズはすごくあるが、コロナの影響で出てこれないスタッフもいて、調整が難しい。
- ・何となく社会と分断されているような子どもが多い中でこういった活動で、しっかり誰かとつながっているという感覚があるということは素晴らしいことだと思う。
- ・地域で子どもを育てるといった観点からも、こういった活動が県内に広まっていけばいいと思う。
- ・金沢では、PTAと子ども会と公民館とが連携し、さらにはお互いに事業の見直しができないかと考えている。
- ・コロナ禍であっても、子どもの成長時に適切な体験活動をいかに与えられるかというのは非常に大きなポイントである。

## 地域と学校の連携・協働の推進に係る研修会

日 時 令和4年1月25日(火) 石川県庁会議室

- 内 容 (1) 事例報告  
「コミュニティ・スクールの取組」  
かほく市立高松中学校校長 漢野 有美子 氏  
かほく市立高松中学校学校コーディネーター 藤本 深帆 氏
- (2) 事業説明(オンライン)  
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課地域学校協働活動推進室  
地域学校協働推進係  
専門職 宮川 拓史 氏
- (3) 講演(オンライン)  
「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」  
文部科学省CSマイスター  
NPO法人みらいずworks代表理事 小見 まいこ 氏

参加者 市町教育委員会事務局職員 22名

# 放課後子ども総合プラン研修会

## [1回目]

日 時	令和3年10月11日(月) 10:00～11:30
会 場	石川県庁
講義・演習	「気になる子の理解とかわり方」
講 師	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 吉村 優子 氏
参加者数	90名



### <参加者の声>

- 気になる子の行動を書きおこすABCフレームなど具体化することはとても大事なことだと思いました。とてもわかりやすく、おすすめの本も教えていただいたのでよかったです。(児童クラブ関係者)
- 毎日子どもたちと接している中で、自分(私)が困っていると思っていましたが、一番困っているのは子どもなのかもしれないと気づくことができました。「転ばないようにというより、転んでも起き上がれるように」しっかりと伴走者として子どもたちと走りたいと思いました。(児童クラブ関係者)
- 今回の内容にあったABCフレームは、支援するためにとっても有効な見える化だと思い、現場に取り入れようと思います。(児童クラブ関係者)
- 気になる子の支援の仕方をいろいろな観点から試してみようと思いました。子どもたちが安心して生活していける場所を、しっかりと作っていきたいと思いました。(児童クラブ関係者)

## [2回目]

日 時	令和4年2月22日(火) 10:00～11:30
会 場	石川県地場産業振興センター
講義・演習	「子どもにとっての遊びと体験活動と大人の役割」
講 師	金沢大学人間社会研究域学校教育系 教授 滝口 圭子 氏
参加者数	50名



### <参加者の声>

- 色々な体験をさせて、経験・知識を得るという点については、実践していますが、どちらかというのと管理する、しつけの面が強いと今日話を聞いて考えさせられました。見守る、一歩引いて見ていくことも必要と思い、早速実践します。(児童クラブ関係者)
- 子どもにとっては、遊びは「体験」「経験」をする上で必要だとあらためて感じた。(行政職員)
- 子どもの頃どんな遊びをしたかや子どもの遊びに大人は必要か、大人がいてこそ楽しめる遊びとは等のワークは、自分が考えていることと重なる部分や自分では考えつかなかった他の方の意見もあり、なるほどと思うことばかりでした。(児童クラブ関係者)

# 放課後子ども総合プランに関する研修会

## ◆◆放課後児童支援員等研修事業◆◆

放課後児童支援員等の資質向上を図るため、必要な知識及び技術の習得並びに課題や事例を共有する、初任者向けの研修や中堅者向けの研修等を実施した。

◆趣旨：研修を区分毎に分け、対象者ごとにレベルアップを図るための研修を行う。

◆対象：放課後児童支援員及び補助員、放課後児童クラブ運営管理者、各市町放課後子ども総合プラン担当者、放課後子ども教室関係者

### ◆研修内容

区分	テーマ	内容	開催場所	開催日	時間	実績	講師
初任	支援員の役割とは	【講義】 放課後児童クラブの概要、支援員の役割、職場倫理等についての習得	地場産業振興センター本館 第5研修室 オンライン研修	7月15日(木)	10:00～12:00	61 102	学校法人七尾学院 理事長 釜土 達雄
	発達障害がある子どもの理解と支援	【講義】 発達障害の特徴を理解するための基本的な知識を習得し、具体的な事例を学びながら理解を深める	地場産業振興センター本館 第1研修室 オンライン研修	6月16日(水)	9:30～12:00	46 70	石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾
			小松市公会堂大会議室	6月22日(火)	9:30～12:00	43	
			七尾市文化ホール 第24会議室	6月23日(水)	9:30～12:00	6	
中堅	子どもの心理～関係性の中で生きる子ども～	【講義】 コロナ禍における子どもの心理状態について いじめ・虐待の心理について	地場産業振興センター本館 第1研修室 オンライン研修	6月28日(月)	10:00～12:00	53 179	金沢学院大学文学部文科学科心理学専攻 教授 前川 浩子
			セミナーハウスあいりすあいりすホール	7月 9日(金)	10:00～12:00	27	
			ラピア鹿島ミュージアムホール	7月 2日(金)	10:00～12:00	16	
	放課後児童クラブにおける保護者支援～保護者とのつながり・対応について～	【講義・演習】 保護者との関わりについて、グループワークを行いながら学ぶ	オンライン研修	9月30日(木)	10:00～12:00	168	金城大学短期大学部幼児教育学科 教授 米川 祥子
共通	子どものための支援～わかりやすい支援の実践紹介～	【講義】 子どもに寄り添った子どものための支援とはどんなものか、具体的な支援策を紹介してもらいその効果を学ぶ	ラピア鹿島ミュージアムホール	11月11日(木)	10:00～12:00	22	金沢手をつなぐ親の会 相談支援事業所きぎな 課長 笠合 竜明
			小松市公会堂大会議室 オンライン研修	11月 4日(木)		48 86	
			地場産業振興センター本館 第1研修室 オンライン研修	11月18日(木)		36 123	
			オンライン研修	11月 2日(火)		113	
	緩やかなマネジメントによるチームでの育成支援	【講義・演習】 子ども達の主体性を支援するための育成支援目標やそれらを柔軟に見直すことにおいて、チームとして何が必要か、連続して行う研修をクラブで共有しながら学ぶ	オンライン研修	11月 9日(火)	11月16日(火)	113	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 鈴木 瞬
			オンライン研修	11月 9日(火)	11月16日(火)	113	
			オンライン研修	11月16日(火)	11月16日(火)	113	
コロナ禍における子育て事業活動について	【講義】 非常における保護者との連絡体制について、従来のツールを見直しつつ、SNS等の新しいツールの利用についても広く学び、その効果や注意点を学ぶ	オンライン研修	12月10日(金)	10:00～12:00	173	NPO法人リンクスマイル 理事長 古畑 真弓	



資質向上研修



認定資格研修

## ◆◆放課後児童支援員認定資格研修◆◆

### ◆趣旨

本研修は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚労省令第63号。以下「基準」という。)に基づき、基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者が、放課後児童支援員として必要な知識及び技能を習得し、有資格者となるための石川県知事が行う研修である。

### ◆目的

放課後児童支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通理解を得るため、職務遂行上の必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識してもらうことを目的とする。

### ◆対象者

基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者で、放課後児童支援員として放課後児童健全育成事業に従事している者、または従事しようとする者

### ◆研修内容

内容	講師	実施日時・会場						
		時間	A日程		時間	B日程		
			金沢会場	小松加賀会場		野々市会場	七尾羽咋会場	輪島会場
1日目		9/1(水)			9/2(木)			
1-①	放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容 淑徳大学 教授 柏女 豊峰	10:50～12:20	地場産業振興センター本館 第7研修室	小松市公会堂 大会議室	9:40～11:10	野々市フォルテ小ホール	コスモアイル羽咋第1研修室	輪島市社会福祉協議会会議室
1-②	放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護 学校法人七尾学院 理事長 金土 達雄	9:10～10:40			11:20～12:50			
2日目		9/8(水)			9/9(木)			
1-③	子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ 金城大学 教授 側垣 順子	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第5研修室	セミナーハウス あいりす あいりすホール	9:30～11:00	野々市フォルテ小ホール	コスモアイル羽咋小ホール	輪島市社会福祉協議会会議室
3-⑧	放課後児童クラブに通う子どもの育成支援 津幡町のびっ子くらぶ 支援員 重木 奈穂美	10:40～12:10			11:10～12:40			
3日目		9/14(火)			9/16(木)			
2-④	子どもの発達理解 金城大学短期大学部 教授 和泉 美智枝	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第5研修室	小松市公会堂 大会議室	9:30～11:00	ののいちカミーノホール	コスモアイル羽咋小ホール	輪島市社会福祉協議会会議室
2-⑤	児童期(6歳～12歳)の生活と発達 金沢大学 教授 滝口 圭子	10:40～12:10			11:10～12:40			
4日目		9/28(火)			9/22(水)			
2-⑥	障害のある子どもの理解 金城大学短期大学部 教授 和泉 美智枝	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第5研修室	小松市公会堂 大会議室	9:30～11:00	野々市フォルテ小ホール	コスモアイル羽咋第1研修室	輪島市社会福祉協議会会議室
2-⑦	特に配慮を必要とする子どもの理解 県中央児童相談所 判定課長 村田 玲子	10:40～12:10			11:10～12:40			
5日目		10/6(水)			10/7(木)			
3-⑨	子どもの遊びの理解と支援 いしかわ子ども交流センターセンター長 橋場 真一	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第7研修室	セミナーハウス あいりす あいりすホール	9:30～11:00	ののいちカミーノホール	コスモアイル羽咋小ホール	輪島市社会福祉協議会会議室
3-⑩	障害のある子どもの育成支援 金沢手をつなぐ親の会相談支援事業所さきずな 課長 笠合 竜明	10:40～12:10			11:10～12:40			
6日目		10/13(水)			10/14(木)			
4-⑪	保護者との連携・協力と相談支援 金沢星稜大学 准教授 芥川 元喜	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第7研修室	セミナーハウス あいりす あいりすホール	9:30～11:00	野々市フォルテ小ホール	コスモアイル羽咋第1研修室	輪島市社会福祉協議会会議室
4-⑫	学校・地域との連携	10:40～12:10			11:10～12:40			
7日目		10/20(水)			10/21(木)			
5-⑬	子どもの生活面における対応 元石川県看護教諭 中畑 直美	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第3研修室	セミナーハウス あいりす あいりすホール	9:30～11:00	地場産業振興センター本館 第7研修室	コスモアイル羽咋小ホール	輪島市社会福祉協議会会議室
5-⑭	安全対策・緊急時対応 いしかわ子ども交流センターセンター長 橋場 真一	10:40～12:10			11:10～12:40			
8日目		10/27(水)			10/28(木)			
6-⑮	放課後児童支援員の仕事内容 野々市市たちのクラブ 支援員 早川 雅代	9:00～10:30	地場産業振興センター本館 第3研修室	セミナーハウス あいりす あいりすホール	9:30～11:00	地場産業振興センター本館 第3研修室	コスモアイル羽咋第1研修室	輪島市社会福祉協議会会議室
6-⑯	放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守 学校法人七尾学院 理事長 金土 達雄	10:40～12:10			11:10～12:40			

 Zoomによるオンライン配信



放課後子ども教室推進事業  
各市町の取組事例





# 金 沢 市

担 当 課 金沢市教育委員会生涯学習課

住 所 〒 920-8577 金沢市柿木畠1番1号

TEL・FAX TEL 076-220-2441・FAX 076-220-2488

運営委員会名 (開催回数)	金沢市放課後子ども教室コーディネーター連絡会		
構成役職 (合計人数)	放課後子ども教室関係者、生涯学習課長、生涯学習課担当者、子育て支援課、教育総務課担当者(合計13名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の活動について</li> <li>・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携について</li> </ul>		
放課後子ども 教室箇所数	8箇所	放課後児童 クラブ箇所数	103箇所
小学校区数	53校区	小学校児童数	22,582人
コーディネーター 役職等(人数)	公民館主事、地域住民(8名)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室の企画・運営サポート</li> <li>・地域の協力者との連絡調整</li> </ul>		

## コーディネーター紹介

諸江公民館 福島 美智子 さん

コロナ禍において子ども達が元気に活動できているのは、地域の皆様、指導者の皆様のおかげであると感謝しております。

今後も制限の多い中ではありますが、子ども達にとって楽しい有意義な時間となるよう、安全対策を講じながら活動していきたいと思えます。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

地域で子どもを育む活動として地区公民館が主体となり、地域ごとに特色あるプログラムを展開している。また、一部の教室では児童クラブの子ども達が参加している。

子ども達は、和太鼓や茶道・友禅染めといった伝統文化や昔遊び・スポーツなどの様々な体験を通し、地域の方々との交流を深めながら、地域への愛着心を育てている。

今後、さらに活動を行う地域が増えるよう大学や関係機関と連携し、より活動しやすい体制づくりを進めていきたい。

# 諸江っ子に夢を与える会 夢太鼓

金沢市

活動場所	諸江公民館・諸江町小学校体育館
活動日・時間	第1・3月曜日 18:30～、第2・4木曜日 18:30～ 第1・3土曜日 9:00～
活動内容	和太鼓練習
指導者等 (スタッフ・運営体制)	指導者1名、スタッフ2名、保護者
活動の成果	17年発足以来、多くの子ども達が巣立っていった。放課後の居場所づくりとしてだけでなく、行儀作法、縦横の関係の構築、太鼓技術の習得を目的とし、地域のイベント、単独ライブ等を行っている。コロナ禍のため令和3年度は中止したが、介護施設への慰問、合宿等も行っている。
参加者・保護者の感想	現メンバーでのコンクール初出場や、ボランティア演奏等で、絆を深めてきた。先生のご指導、自主練習で研鑽を深めることができた。



成人式での演奏



練習風景

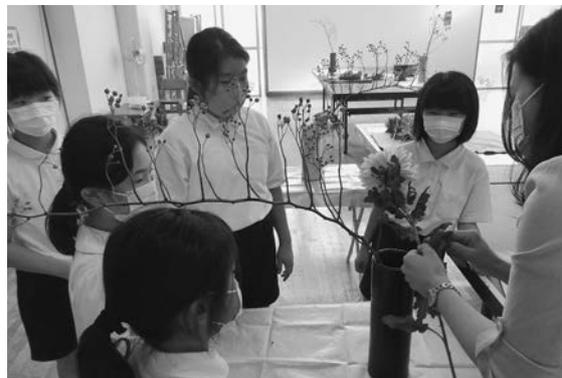
# 集まれ 花園っ子 おもしろ教室

金沢市

活動場所	花園公民館
活動日・時間	生け花教室 月1回(月曜日) 15:00～17:30 ハンドメイドクラブ 月1回(火曜日) 16:00～17:00 おりがみであそぼう! 月1回(水曜日) 15:30～16:30
活動内容	生け花(草月流)、ハンドメイドクラブ、おりがみ
指導者等 (スタッフ・運営体制)	指導者1名、公民館職員、地域の方
活動の成果	生け花教室は、継続して参加している子どもたちは、自分で生けることができたようになった。 おりがみは、基本の山折り谷折りを教え、簡単な作品を仕上げることから始めた。子ども達のおりがみに触れる機会が減っているようで、最初は綺麗に折ることが難しい子もいたが、最後には上手に折れるようになった。
参加対象	小学生・中学生(生け花のみ)
参加方法・費用	4月に募集をかけ1年間継続 生け花:1,200円、ハンドメイドクラブ:その都度



ハンドメイドクラブ



生け花教室



折り紙教室



折り紙教室



# 小松市

担当課 小松市教育委員会事務局生涯学習課

住所 〒923-8650 小松市小馬出町9 1 番地

TEL・FAX TEL 0761-24-8128・FAX 0761-23-3563

運営委員会名 (開催回数)	苗代放課後子ども教室運営協議会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	小松市立のしろ児童館(苗代児童クラブ)、苗代小学校(校長・PTA会長)、苗代校下連合町内会会長、苗代校下公民館館長、小松市こども家庭課課長、本江駐在所、苗代地区主任児童委員、苗代校下子供会育成会会長、のしろ児童館母親クラブ代表、なかよし幼稚園園長、のしろこども園園長(合計 12名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の企画運営について</li> <li>・地域の方々との協力体制作りについて</li> </ul>		
放課後子ども教室箇所数	1箇所	放課後児童クラブ箇所数	35箇所
小学校区数	23校区	小学校児童数	5,638人
コーディネーター役職等(人数)	小松市立のしろ児童館副館長(1人)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムの企画運営</li> <li>・地域ボランティアの募集</li> </ul>		

## コーディネーター紹介

のしろ児童館が連携の中心になり、苗代小学校・校下公民館・保護者・地域ボランティアの連携を深めて、子ども達が、放課後や週末を安心・安全に過ごし、地域社会の中で心豊かに成長できるよう、地域全体で子どもを育てる環境作りを進めている。活動として保護者・小松市立博物館・鞍掛山を愛する会・ブナオ山観察舎と連携し、地域の「自然」「文化」に触れ、学習する体験活動をおこなってきた。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

- ・地域の「自然」「文化」「歴史」に触れることで、子どもたちの地域理解がひろがった。
- ・保護者の参加・協力が得られるようになった。
- ・地域と学校が連携・協働し、地域住民等の参画を得ながら、地域の実情に応じた取組が行われるよう支援していきたい。

# 苗代放課後こども教室

小松市

活動場所	のしろ児童館、苗代小学校、市内近隣各所
活動日・時間	毎週水曜日放課後（1.5時間程度）、土曜日・日曜日
活動内容	「のしろっこ塾」・・・週一回の「宿題等の自学自習の支援」 「博物館等と連携した体験・学習活動」・・・年5回 （「砂金さがし」「ハゼ釣り教室」「山城めぐり」「鞍掛山 親子登山」「冬の生き物調査」） 特別参加「こどもSDGs講座 未来のこまつは どんなまち？」（3回）
指導者・協力団体	コーディネーター、教育活動サポーター 小松市立博物館、鞍掛山を愛する会、ブナオ山観察舎
活動の成果	小松市近隣の「自然」「生物」「歴史」「文化」などに触れることで、地域理解が深まった。
参加対象	苗代小学校児童、保護者
参加方法・費用	年度初めに学校を通じて児童に通知し、希望者を募集。 （週一回の「のしろっこ塾」については登録参加） 費用は「実費」が必要な場合は徴収
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に協力いただける支援者（ボランティア）の確保</li> <li>・「自然」「文化」「歴史」の幅を広げた活動を展開する</li> <li>・一層の保護者の参加と協力</li> </ul>



砂金さがし



ハゼ釣り教室（仕掛けづくり）



山城めぐり（鳥越城）



冬の生き物調査



# 輪 島 市

担 当 課 輪島市教育委員会生涯学習課

住 所 〒 928-0001 輪島市河井町 20 部 1 番地 1

TEL・FAX TEL 0768-23-1176・FAX0768-23-1129

運営委員会名 (開催回数)	輪島市公民館連合会		
構成役職 (合計人数)	公民館長 (19人)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施の方針について</li> <li>・ 事業実施における安全体制の確立について</li> <li>・ 学校支援活動の在り方について</li> </ul>		
放課後子ども 教室箇所数	11箇所	放課後児童 クラブ箇所数	10箇所
小学校区数	9校区	小学校児童数	748人
コーディネーター 役職等(人数)	公民館長・公民館主事・コーディネーター (48人)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども教室の企画運営</li> <li>・ 地域ボランティア募集とマッチング</li> <li>・ 児童クラブや各種団体との連携協力</li> </ul>		

## コーディネーター紹介

地区公民館職員がそれぞれの地域の特色を活かしながら関係機関と連携し、地域住民と一体となって子ども達が安全に過ごせる居場所づくりと多様な学習機会を提供することで、地域全体で見守り育むことができるように進めていきたい。

## 本事業における成果

### ・ 今後の予定や課題

地区公民館が主体となり、教育機関と地域住民が相互に連携・協力しながら子ども達を見守り育む体制づくりに努めている。

今後も地域の特色を活かした体験教室の実施や子ども達にとって効果的な学習支援ができるよう、地域住民と協力して進めていく。

# 鶴巣小学校区放課後子ども教室（鶴巣協育推進地域本部）

輪島市

活動場所	ふれあいプラザ鶴巣
活動日・時間	6月～10月（年5回）15：00～17：00
活動内容	エコバック作り、折り染めでうちわ作り、入浴剤作り等
指導者等 （スタッフ・運営体制）	地域協力者
活動の成果	子ども達は、物作り体験をすることで興味・関心がもてた。
概要	放課後、下校してきた子ども達が利用し地域住民の講師の協力を得てエコバック作り・折り染めでうちわ作り・入浴剤作り等の教室を開催し地域住民とのコミュニケーションに取り組んでいる。
参加対象	鶴巣小学校児童
参加方法・費用	自主的に参加したい子ども達、工作材料を使用する場合、参加費500円以内（材料実費）





# 鳳至小学校区放課後子ども教室（鳳至協育推進地域本部）

輪島市

活動場所	輪島市立鳳至公民館
活動日・時間	・月1回放課後（夏休み・冬休み等の学校休業期間中を除く） ・不定期 年3～4回 1時間程度
活動内容	・学習（宿題等の自主学习）支援等 ・ニュースポーツ教室
指導者等 （スタッフ・運営体制）	・学習支援員 ・スポーツ推進委員ほか
活動の成果	・定期的に学校教育に係る学習支援を行い、子ども達がお互いに教え合いながら宿題を最後まで終わらせるよう促し、子ども達に学習することの楽しさを学ばせ、また、学習を段取り良かつ習慣化できるよう教えている。 ・パラリンピック競技でもある、ポッチャをはじめとしたニュースポーツを行い、様々な競技を体験させ、子ども達に多様な学びの機会を与えている。
参加対象	鳳至小学校児童
参加方法・費用	自主的に参加したい子ども達・参加費なし
今後の課題	・低学年児童の参加が多いので、学校等とも連携をとりながら高学年の参加者を増やしたい。 ・感染症対策をとりながら、子ども達の興味を引くような活動を企画していきたい。





# 珠 洲 市

担 当 課 珠洲市教育委員会事務局生涯学習係

住 所 〒 927-1295 珠洲市上戸町北方 1 字 6 番地の 2

TEL・FAX TEL 0768-82-7826・FAX 0768-82-6630

運営委員会名 (開催回数)	珠洲市放課後子ども教室運営委員会 (支援員連絡会) (10回)		
構成役職 (合計人数)	放課後子ども教室関係者、教育委員会事務局長、教育委員会事務局職員 (学校関係) 教育委員会事務局担当者 (合計 14名)		
検討内容	・放課後子ども教室の運営について ・各教室運営の情報共有		
放課後子ども 教室箇所数	8箇所	放課後児童 クラブ箇所数	0箇所
小学校区数	9校区	小学校児童数	389人
コーディネーター 役職等 (人数)	生涯学習係職員 (1人)		
活動内容	・活動プログラムの企画、運営 ・地域の協力者の確保、連絡調整		

## コーディネーター紹介

子どもたちが地域社会の中で、心豊かに育まれるよう「地域」「家庭」「学校」が連携し、地域で子どもを育てる環境づくりを進めている。これからも地域の方々の協力を得ながら、子どもたちに多様な交流、体験を提供していきたい。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

子どもたちに放課後や週末等における安全・安心な居場所を提供するとともに、地域の方々の参画を得たプログラムを通して、様々な体験や交流が図られている。

課題は支援員のなり手がいないこと。参加児童数が増えてきているので、適切な支援員の人数を確保していきたい。

# 珠洲市放課後子ども教室

珠洲市

活動場所	蛸島小学校、若山小学校、みさき小学校、宝立小中学校、 上戸小学校、飯田小学校、直小学校、大谷小中学校 8校
活動日・時間	月曜日～金曜日 放課後～18:00 土曜日、春・夏・冬休み 8:00～12:30
活動内容	自主学习、俳句教室、将棋教室、生け花教室、お絵かき教室、国際交流、グラウンドゴルフ等軽スポーツ、工作、公民館事業参加等
指導者等 (スタッフ・運営体制)	支援員、協働活動支援員、地域の方々
参加対象	小学校児童
活動の成果	様々な体験活動や交流活動を通して、子ども同士だけでなく、地域の大人とも交流を深めることができた。地域で子どもたちを育てる意識の高揚も図ることができた。
今後の予定	子どもたちが心豊かで遅く成長できるよう地域の方々の協力を得ながらプログラムをさらに増やしていきたい。



大正琴教室



グラウンドゴルフ教室



ラッピング教室



お絵かき教室



# 加賀市

担当課 加賀市教育委員会事務局生涯学習課

住所 〒922-8622 加賀市大聖寺南町二41番地

TEL・FAX TEL 0761-72-7980・FAX 0761-73-4824

運営委員会名 (開催回数)	加賀市放課後子ども総合プラン運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	放課後子ども関係者、放課後児童クラブ関係者、学校指導課長、子育て支援課長、生涯学習課長 (合計7名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀市の放課後子ども教室及び放課後児童クラブの活動内容について</li> <li>・放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携についてや今後の取り組みについて</li> <li>・コミュニティ・スクールの取り組みについて</li> </ul>		
放課後子ども教室箇所数	4箇所	放課後児童クラブ箇所数	22箇所
小学校区数	18校区	小学校児童数	2,861人
コーディネーター役職等(人数)	社会教育主事、放課後子ども教室関係者 (3人)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室と関係団体との連携促進</li> <li>・地域の人材の発掘・育成</li> </ul>		

## コーディネーター紹介

社会教育主事・生涯学習コーディネーター  
中出 聖子 さん

全国的に少子化が進み、小学校の統廃合が進められています。加賀市も例外ではありません。

大きな学校に統合されると、学校周辺のことや学んでも、生まれ育った家のふるさとのことを知る機会は、少なくなります。

今後は、ふる里のことを学び、災害時でもしっかり動けるような教室の取り組みも必要になってくるように思います。

理想ですが、「生きるための教室」を、子どもたちに提供できたら素晴らしいです。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

活動を続けてきたことで、放課後子ども教室が地域に浸透しており、地域の各種団体との協力関係のもと、地域における子どもの居場所としておおきな成果を挙げています。

指導者が高齢化してきている教室もあることから、各教室の活動を続けていくためにも、指導者となる人材が求められています。

# 西谷すぎのこ塾

加賀市

活動場所	西谷地区会館
活動日・時間	毎週金曜日 16:00～18:00 夏・冬・春休み期間は活動しない
活動内容	宿題教室・軽運動
指導者等 (スタッフ・運営体制)	公民館長を中心とした、スタッフ7名で交代制
活動の成果	宿題を済ませる。 わからない所は先生や上級生に教えてもらいながら進める。 上級生は下級生に教えながら、自らの理解も深める。 宿題の後、バドミントンや卓球などの軽運動をする。 ルールのあるスポーツをすることで、互いの協調性を身に付ける。 全学年と一緒に活動することで、学年を超えて人との関わりを学ぶことができる。
参加対象	小学校1～6年生の児童



全学年が一緒になって軽運動



上級生にわからない所を教えてもらう



宿題をする



先生にわからない所を教えてもらう

# 橋立地区放課後子ども教室

加賀市

## 卓球クラブ

活動場所	橋立小学校体育館
活動日	毎週 火 水 木 金
活動内容	技術練習、試合、交流
指導者等	入野俊明（山谷、中村、他卒業生）
所属	小学生15名 中学生9名
活動の成果	加賀市及び県大会の試合に参加。 卒業生は各クラブで活躍している。



## バレーボールクラブ

活動場所	橋立中学校体育館
活動日	毎週 月 水
活動内容	基本練習、フォーメーション練習、 試合
指導者等	西川茂樹（照田、宮本、他卒業生）
所属	小学生27名 中学生8名
活動の成果	バレーボール交流会参加 高校生の参加協力が日常的にあり、楽しみながら活動している。クラブ卒業生は全国大会出場などで活躍。

### <概要>

橋立地区放課後子ども教室は、子どもたちがスポーツを通して健康な体を作ること、仲間との交流の中でチームワークや社会性を身につけることを目的に結成された。特にバレーボールと卓球が盛んなこの地区では、保護者やクラブのOBやOGの協力によって長い年月運営されている。まちづくりのスポーツ大会、ホテルウォッチングなど行事にも積極的に参加している。コロナ禍の中で練習が制限される日もあったが、保護者の協力による体温測定、体調管理を行い、活動を続けている。



# 白山市

担 当 課 放課後子ども教室担当：白山市教育委員会事務局生涯学習課  
 放課後児童クラブ担当：白山市健康福祉部こども子育て課  
 住 所 〒 924-8688 白山市倉光二丁目 1 番地  
 TEL・FAX TEL 076-274-9572・FAX 076-274-1665 (生涯学習課)  
 TEL 076-274-9575・FAX 076-274-9547 (こども子育て課)

運営委員会名 (開催回数)	白山市放課後子どもプラン運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	市社会教育委員、小学校校長、市立児童館長、 放課後子ども教室実施団体 (6名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの放課後の実態把握について</li> <li>・放課後子ども教室の活動について</li> <li>・今後の白山市の展開について</li> </ul>		
放課後子ども 教室箇所数	1箇所	放課後児童 クラブ箇所数	40箇所
小学校区数	19校区	小学校児童数	6,152人
コーディネーター 役職等(人数)	白山市職員 (1人)		
活動内容	各教室との連絡調整、事業企画等の視察・助言		

## コーディネーター紹介

生涯学習課職員が各教室と連絡を取り合い、円滑な教室運営となるよう努めていきます。各教室がそれぞれの地域の特色を生かせるよう、住民主体のこの活動を私たちも支えていきたいと思えます。

## 本事業における成果 ・今後の予定や課題

子どもたちにとって学校外でも安全・安心な居場所が確保される。そして、子ども同士の交流が深まるだけでなく、各地域の特色を生かした活動を通して子どもと地域住民との間に繋がりが生まれる。また、その活動の中で地域の伝統や文化、遊び方を大人から学び、地域の愛着心を育む。

放課後子ども教室の認知と理解。安定的に参加する子ども、指導・協力していただける地域住民の確保。

# キッズかがのクラブ

白山市

活動場所	加賀野体育館、加賀野公民館他
活動日・時間	主に毎週水曜日 15:00～17:00（5月～12月）毎週土曜日 9:00～10:30（1月）
活動内容	ニューススポーツ体験、読み聞かせ会、食育教室、ミニコンサート、ミニ遠足 年賀状づくり、工作教室、夏休み勉強会、水引づくり、プレススポーツ
指導者等	ぴいすく美川職員・スタッフ、地域住民、地域の教員及び教員OB、 学校図書館支援センター職員、加賀野郵便局職員、公民館職員他
活動の成果	体を動かす遊びやスポーツを中心とした約1年間のプログラムは、子ども達の心と体の成長に大きく寄与している。文化的な活動についても、農家の方から食べ物 の大切さについてのお話を聞く、郵便局長さんの指導で年賀状の書き方を学ぶ等、学 校や家庭で出来ない活動を積極的に取り入れることが出来た。 毎週、多くの小学生が地域の拠点である公民館に通っていることは、幼い頃から 地域と親しむきっかけとなっている。地域にとっても子どもを核としたまちづくり の重要性を考える機会となった。
参加対象	加賀野地区の小学校 1、2、3年生
参加方法・費用	・対象児童全世帯に募集案内送付 ・1,000円（スポーツ保険料 800円＋活動費 200円）
保護者の感想	以前参加していた姉の話を、羨ましそうに聞いていた弟達が、現在参加しています。 毎回キッズかがのクラブからの帰宅後は、嬉しそうに沢山話をしてくれ、親の私も 楽しみの時間となっています。運動、学習面から文化面と多岐に渡る活動を取り入 れていただき、子ども達は体験を通して、興味の幅が広がり感謝しています。
今後の課題	小学校・保護者との連携、指導者の人材確保、コロナ禍の安全管理



食育教室



ミニ遠足



読み聞かせ会



プレススポーツ





# 野々市市

担 当 課 野々市市教育委員会事務局生涯学習課

住 所 〒 921-8510 野々市市三納1丁目1番地

TEL・FAX TEL 076-227-6117・FAX 076-227-6258

運営委員会名 (開催回数)	野々市市放課後子どもプラン運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	生涯学習課長、子育て支援課代表、放課後子ども教室コーディネーター、放課後子ども教室代表、放課後児童クラブ代表 (2人)、土曜日等の教育活動代表		
検討内容	放課後子ども教室の運営について 土曜日等の教育活動の運営について 放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブの現状 放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブの課題について		
放課後子ども 教室箇所数	5箇所	放課後児童 クラブ箇所数	29箇所
小学校区数	5校区	小学校児童数	3,389人
コーディネーター 役職等(人数)	野々市市家庭教育サポーター (1名)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア ・地域の協力者の募集</li> <li>・放課後子ども教室、講師等の連絡調整</li> </ul>		

## コーディネーター紹介

川上 秀子 さん

コロナ禍対応2年目になり参加できるスタッフは増えてきましたが、従来通りの全校下で実施できる人数までは確保できず、今年度も変則開催となりました。また、「緊急事態宣言」で6月の事業は中止となり、開催内容の変更を余儀なくされました。こうした目まぐるしい活動の中、市長、学校、生涯学習課の協力や、講師の方々の支援による「地域のつながり」と、何よりもスタッフの力量を心強く感じました。保護者の方からは開催を喜んでいただき、大変ありがたく、励みになりました。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

本年も多くの申込があり地域に根付いた事業となっている。コロナ禍により一部体験事業はできなかったものの、スタッフと子ども達と一緒に楽しめる催しを協議、考案し、みんなが笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができた。今後も、活動を維持できるスタッフ数を確保しながら、新しい催しを考案しつつ、活動の幅を広げていきたい。

## 野々市市放課後子ども教室（カレード教室）

野々市市

活動場所	学びの杜ののいち カレード
活動日・時間	毎週木曜日 15:45~16:45
活動内容	ゲーム大会、英語であそぼ、いきもの道場（ザリガニ）、ネイチャーゲーム、ゴミ検定、ゴミ分別、クリスマス工作、旗源平、出前文庫、フラワーアレンジ、野々市クイズ
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費3,300円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	放課後の限られた活動時間だが、様々な体験活動を通じて子ども同士はもちろんスタッフとも交流を深めることができた。また、地域の方々にも協力していただき、安全・安心な子ども教室を実施することができた。



いきもの道場（ザリガニ）



ゴミ分別

## 富陽小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	富陽小学校 小体育館
活動日・時間	毎週水曜日 14:30~15:30
活動内容	エドくんとあそぼう、しゃぼん玉であそぼう、いきもの道場（ザリガニ）、ハロウィン、ネイチャーゲーム、フラワーアレンジ、クリスマス工作、学校の先生とあそぼう
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費3,300円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	さまざまな体を動かす活動や工作活動を多く行うことで、子どもたちが元気に放課後の時間を楽しむことができた。



エドくんとあそぼう



ネイチャーゲーム



# 中能登町

担当課 中能登町教育委員会事務局 生涯学習課

住所 〒929-1721 鹿島郡中能登町井田に部 50 番地  
生涯学習センター「ラピア鹿島」

TEL・FAX TEL 0767-76-1900・FAX 0767-76-0909

運営委員会名 (開催回数)	中能登町放課後子ども教室運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	教育長、町PTA連合会長、町子ども会連絡協議会長 健康保険課担当課長、生涯学習課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子どもプランの事業計画について</li> <li>・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携について</li> </ul>		
放課後子ども 教室箇所数	6箇所	放課後児童 クラブ箇所数	3箇所
小学校区数	3校区	小学校児童数	830人
コーディネーター 役職等(人数)	生涯学習課職員：1名、健康保険課職員：1名		
活動内容	放課後児童クラブ、児童館との連絡調整		

## コーディネーター紹介

生涯学習課職員が、健康保険課職員と連携及び各子ども教室とも連絡を取り合い、円滑な活動ができるよう相談しながら運営しています。

活動内容については、今後も各教室と相談しながら新たな活動も視野に入れ運営していきたいと思えます。

今後も関係機関と連携を取りながら、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など掲げて子ども達の楽しい時間作りをしていきたいと思えます。

## 本事業における成果

### ・今後の予定や課題

関係機関や子どもたちの意向も聞きながら、楽しい教室になるよう努めていきたい。

活動内容についてはマンネリ化がおりつつあります。今後は新しい企画も視野に入れ、関係機関と協議しながら、子ども達の興味を引くような企画を考え、安全・安心に活動できる放課後の居場所づくりに取り組んでいきたい。

# かしま児童館放課後子ども教室

中能登町

活動場所	かしま児童館
活動日・時間	不定期 2時間程度
活動内容	レクリエーション教室、バルーン教室、お茶教室
指導者等 (スタッフ・運営体制)	地域協力者
活動の成果	運動や遊びを通じ、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鹿島小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体 との連携	当町で登録されている「まちの先生」のより一層の活用や、地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	新しい企画を取り入れ、引き続き、子どもたちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。



レクリエーション教室



バルーン教室

# とりや児童館放課後子ども教室

中能登町

活動場所	とりや児童館
活動日・時間	不定期 2時間程度
活動内容	ハーバリウム教室、レクリエーション教室
指導者等 (スタッフ・運営体制)	地域協力者
活動の成果	運動や体験を通じ、子どもたちが体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鳥屋小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体 との連携	当町で登録されている「まちの先生」のより一層の活用や、地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	内容を工夫して、子どもたちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。



ハーバリウム教室

放課後児童クラブ・  
放課後子ども教室連携活動

## 事例紹介



# 放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携活動事例報告

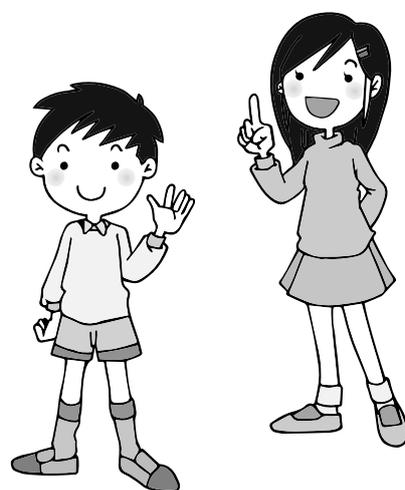
中能登町

放課後子ども教室：とりや学童放課後子ども教室  
 放課後児童クラブ：とりや放課後児童クラブ

活 動 名	お楽しみ教室
活 動 内 容	① 大型絵本「せんたくかあさん」の読み聞かせ ② どんぐりころころとゆうやけ小焼けの輪唱 ③ 手遊び、じゃんけん遊び ④ 「パプリカ」の曲に合わせて全員で踊る
実 施 日	令和3年10月11日(月)
実 施 場 所	とりや放課後児童クラブ
参 加 者 (人数、対象学年)	22名 対象学年1年生～6年生
活 動 の 成 果	クイズや言葉あそび、歌と内容は濃く、児童の年齢関係なく全員が長い時間飽きずに楽しむことができた。
指 導 者 等 (スタッフ、職員の声)	歌声の素晴らしさに職員一同感動した。今後の活動に生かしていきたい。
今 後 の 課 題	大人数が参加するような企画では、今回のように3密を考慮した適切な場所・時間・人数を企画する側が考慮する必要がある。



# 地域の豊かな社会資源を活用した 土曜日の教育支援体制等構築事業について





## 土曜日の教育活動推進プランとは

平成14年に学校5日制が完全実施されてから、15年以上経過し、学習塾や、習い事、地域行事に参加するなど、様々な経験を積み、有意義な土曜日を過ごしている子どもたちがいる一方、必ずしも有意義に過ごしていない子どもたちも存在するとの指摘がありました。

そこで、文部科学省では、平成25年11月に学校教育基本法を改正し、学校設置者の判断により土曜授業を行うことを可能としたほか、質の高い土曜授業実施のための支援策や、地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動など、様々な活動促進のための支援策を講じることにより、子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日の実現を目指すこととしました。これが土曜日の教育活動推進プランのねらいです。

これを受け、石川県では、子どもたちの土曜日の教育活動を充実させるため、様々な経験や技能を持つ地域の人材・企業等の豊かな社会資源を活用した体系的・継続的なプログラムの実施や、地域と連携した土曜日の教育支援を通じて、土曜日の教育支援体制等の構築を図る、「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を平成26年度から開始しました。

今年度は、県内4市町において、各地域の特色を生かした活動に取り組んでいただきました。



小松市 串校下土曜学習



白山市 石川っ子ジュニア文化サークル



加賀市 金明クラブ



野々市市 こどもミュージアム

# 土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

## 小松っ子を育てる市民会議

小松市

活動場所	市内各所
活動日・時間	7月～8月の土曜・日曜 2時間～2時間半
活動内容	「こどもSDGs講座（全4回）」 未来を担う子どもたちが、SDGsの内容を小松市の事例や生活レベルの事象といった身近なものに当てはめて捉えることで、自分事として理解し、持続可能な未来のために必要な行動について考える。
指導者等 (スタッフ・運営体制)	役員、事務局、ほか協力団体
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多様な主体との連携で、より質の高い内容を実現できた。</li> <li>・保護者の参加率が多く、大人の啓発にもつながった。</li> <li>・感染防止対策の徹底や運営の工夫により、事業実施することができた。</li> </ul>
今後の予定	青少年健全育成関係者向けに研修などで取り組みを広げていく。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの伝え方や広報の工夫</li> <li>・感染防止対策と参加者コミュニケーションの両立</li> </ul>
教室立ち上げの経緯・背景	令和元年7月に小松市が「SDGs未来都市」に選定され、各分野においてSDGsの視点を取り入れることがより一層推進されている。青少年健全育成を目的とする本会議でも取り組みを推進するため、令和2年度に親子でSDGsを学ぶ講座を予定していたが、感染拡大のため中止となった。今年度は、コロナ禍での実施を想定し、少人数・県内講師を基本に全4回の講座を土曜学習として実施した。
協力団体（協力者）との連携	JICA 北陸、木場潟公園協会、イオンモール新小松、小松商業高等学校、こまつの杜
参加者・保護者の感想	<p>少し難しい内容もあったが「面白かった」「自分でもSDGsのことを取り組みたい」と満足度は高かった。</p> <p>保護者からは「大人も勉強になる、子どもと一緒に考えることができる、とても良い機会となった」との声があった。</p>



# 土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

## 金明クラブ

加賀市

活動場所	金明地区会館（金明公民館）
活動日・時間	5月～12月の月1回土曜日・午前9時より1時間30分
活動内容	抹茶、水引工芸、将棋・オセロ、16ミリ映画
指導者等 (スタッフ・運営体制)	金明地区まちづくり推進協議会の教育部が運営。講師は町の方などに依頼している。
活動の成果	創意工夫、礼儀作法、心身の健全化が児童にみられる。学年を超えて教えあい仲良くなる様子がみられる。
今後の予定	新しい生活様式を取り入れて実施となり2年経過したが、次年度も引き続き継続する。
今後の課題	講師の高齢化や講師の担い手が難しくなっている。
活動概要・ コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆抹茶：地区会館の和室で作法を教わり抹茶とお菓子を頂く。</li> <li>◆水引工芸：伝統や流行りの結び方を教わり創作する。</li> <li>◆将棋・オセロ：対面し戦略を考え打ち合う楽しさを教わる。</li> <li>◆16ミリ映画：市図書館より映写機とフィルムを借りて観る。</li> </ul>
教室立ち上げ の経緯・背景	平成14年にゆとり教育、完全学校週5日制の実施に伴いまちづくり推進協議会の教育部にて4月に発足。月に2回の土曜日に活動を行ってきた。平成26年より、発足当時から続いてきた人気クラブのクッキングが無くなる。児童減少に伴い活動日数も年間10回から8回になった。全児童を対象により小学校校舎も借りて実施していたが、令和元年小学校より働き方改革や金明クラブの定着などを話し合い現在活動場所は地区会館に限定し、運動クラブの卓球とドッチボールがなくなり、対象児童も高学年となっている。
参加対象	金明小学校児童4～6年生
参加方法・費用	参加費用無し



お抹茶教室



水引工芸教室



将棋・オセロ教室



16mm映画鑑賞

# 土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

## 石川っ子ジュニア文化サークル

白山市

活動場所	石川公民館他
活動日・時間	第4土曜日 9:30~11:00 他
活動内容	茶道教室 茶道稽古、お茶会 三味線教室 演奏練習 わくわくマジックショー マジシャンによるマジックの披露と体験 お楽しみ会 ステンドグラス作り体験
指導者等	地域の人でその道に長けている人、子ども会役員他
活動の成果	小学校では出来ない体験ができる 学年を超えて交流ができる
今後の予定	ふるさとの自然や歴史・伝統の体験を継続
今後の課題	児童センターやこども園・小学校と行事日程が重なることがあるので、連携してさらに充実させていきたい
参加対象	小学1~6年生 募集人数はできるだけ制限せず、申込者全員を受け入れる
指導者の感想	茶道教室 コロナ感染拡大のため急に中止になることがあったが、少ない回数でも真剣に取り組んでいた。 コロナ禍前は文化祭でお茶席を開催し来場者に呈茶していたが、今年は保護者を招待してお茶会を催した。子どもはお点前を披露し緊張したようだが、保護者は練習の成果を間近で見られ大変喜んでいました。



茶道教室 お茶会  
10月16日(土)

わくわくマジックショー  
12月5日(日)



# 土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

## こどもミュージアム

野々市市

活動場所	にぎわいの里のいち カミーノ
活動日・時間	8月19日(木) 13:00～15:30 8月20日(金) 13:00～15:30 10月30日(土) 13:00～15:30 1月22日(土) 13:00～15:30
活動内容	デザイン工房、アート、語学ハカセ、音楽、プログラミング
指導者等 (スタッフ・運営体制)	協働活動推進員、協働活動サポーター
活動の成果	子ども達に学校や家では体験できない場を提供することができた。
今後の予定	今後も継続的に長期休暇や土曜日に実施していきたい。
今後の課題	対象年齢に合わせたプログラムを組まなくてはならない。
活動概要・ コンセプト	子ども達が自分たちで感じ、考え、つくり、伝えるという力が培える場で、子ども達の可能性を引き出したい。安心安全が前提の、クリエイティブ体験ができる環境をととのえることを目指す。
参加対象	市内小中学生





## 石川県教育委員会事務局生涯学習課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL 076-225-1839 FAX 076-225-1838  
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/index.html>

令和4年3月発行